

2018年度 ゴールデンウィーク期間のご利用状況について

【4月27日(金)から5月6日(日)の10日間:優等列車利用同曜比較】

ゴールデンウィーク期間のご利用は、前年と比べて前半期間(4/27~5/1)は大幅にご利用が好調でしたが、後半期間(5/2~5/6)は大幅にご利用が減少し、合計で84千人(前年比100%)となりました。

同曜比較

(単位:人)

	期間計(4/27~5/6)					
	上下計		下り		上り	
やくも号・サンライズ出雲 (伯備線)	48,093	99%	24,180	98%	23,913	99%
やくも号	45,547	98%	22,703	98%	22,844	99%
サンライズ出雲号	2,546	106%	1,477	106%	1,069	105%
スーパーはくと号 (因美線)	21,449	101%	10,648	102%	10,801	101%
スーパーいなば号 (因美線)	7,559	99%	3,878	101%	3,681	98%
スーパーおき号 (山口線)	6,429	104%	3,299	105%	3,130	104%
はまかぜ号 (山陰本線)	65	98%	28	78%	37	123%
合計	83,595	100%	42,033	100%	41,562	100%

※臨時サンライズ出雲号を含む

○ピーク日は以下のとおりでした。

 入り込みのピーク 5月 3日(木曜日)=6,751人

 送り出しのピーク 5月 6日(日曜日)=6,437人

★近距離券売機発売枚数

○ゴールデンウィーク期間を通して主要駅の近距離券売機の発売枚数は、53千枚(前年比99%)でした。

(ICOCAを加味したご利用実績 前年比100%)

※主要駅とは、鳥取、倉吉、米子、松江、出雲市の各駅です。